



News Release

「主婦・主夫のFP資格活用度調査」調査結果

CFP®・AFP資格を取得したことに満足している主婦・主夫 74.4%
満足している理由 第1位「関連知識が増え、お金の悩みが軽減したこと」

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、2020年9月28日～10月12日の15日間、当協会会員であるファイナンシャルプランナー(CFP®・AFP認定者)のうち、主婦・主夫を対象に「FP資格活用度調査」を実施し、680名の回答結果を集計、公開しました。

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の状況において、ファイナンシャル・プランニングの知識を家計に活かすことはより重要になると考えられますが、専業主婦、兼業主婦双方の家計におけるFP知識の活用状況や資格取得時の学習状況など、実体験を基にした調査結果となっています。

■調査結果の概要(詳細は別紙)

◆CFP®資格・AFP資格を取得した目的

「お金に関する知識を高めるため(37.8%)」と「自身または家族のライフプランに活かすため(36.8%)」がほぼ均衡している。他人には気軽に相談できないお金や家計の問題を、主婦・主夫が「自身で解決したい」という意欲的な取得目的が感じられる。

◆FP関連の知識が役立ったと思うライフイベントは「老後・相続」が57.9%でトップ

年代別では身近なライフイベントでの活用が多い結果となった。

地域別では、近年、自然災害が発生した「東北(13.0%)」、「中国・四国(12.5%)」、「九州(10.2%)」が「災害」でFP関連の知識が役立ったと回答しており、備えとなる保険の活用や生活再建のための知識が不測の事態に役立つことを示している。

◆2級FP技能検定に合格するための主婦・主夫の学習状況は？

学習期間は「5カ月から6カ月程度(29.7%)」、1週間あたりの学習日数は「3日から4日(37.5%)」、1日あたりの学習時間は「1時間以上3時間未満(70.9%)」がもっとも多く、主夫・主婦の半数以上が家事や育児の合間を縫ってほぼ毎日学習していた。

◆CFP®資格・AFP資格取得に対する満足度

「専業主婦・主夫」の77.6%が「満足している(57.3%)」、「とても満足している(20.3%)」と満足度の高さがうかがえる。

◆CFP®資格・AFP資格を取得したことに満足している理由

「関連知識が増え、お金に関わる悩みが軽減した」が72.5%でトップ。「家族・友人等から資格を取得していることを評価された」が35.4%で続く。また、契約社員・正社員など(長時間労働)で収入を得ている主婦・主夫の6割が、「仕事に役立った」ことを満足している理由に挙げている。

FP技能検定、CFP®資格、AFP資格については別紙をご覧ください

◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会	TEL	FAX	E-mail
	広報部広報課 伊藤・鈴木	03-5403-9742	03-5403-9795	info@jafp.or.jp

※ CFP®、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

※AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNERおよびアフィリエイトファイナンシャルプランナーは、NPO法人日本FP協会の登録商標です。

特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F

TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライプレイス堂島5F

TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

100 人生100年の
家計戦略

【調査の実施概要】

- ・調査目的: 特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員のうち、属性を「主婦・主夫」として登録している方の FP 資格の活用状況や 2 級 FP 技能検定合格のための学習などに関する調査を行い、その結果を今後の協会運営や FP の認知普及に役立てること。
- ・調査対象: 属性を「主婦」として登録している CFP®認定者・AFP 認定者のうち、メールアドレスを登録しており、かつ(本部からの)メール配信を希望している方
- ・調査地域: 全国
- ・調査方法: インターネット調査(Google フォームを利用)
- ・調査実施期間: 2020 年 9 月 28 日(月)~2020 年 10 月 12 日(月)
- ・メール配信数: 4,350 サンプル
- ・有効回答数: 680 サンプル(回収率 15.6%)
- ・調査主体: 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 広報部調査研究課
- ・留意事項: 図表中の「n」は算出の母数(回答者総数)である。
小数点第 2 位での四捨五入のため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。

【FP 資格について】

■ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定

職業能力開発促進法に基づく技能検定制度の一つで、1 級~3 級までである国家検定です。当協会は厚生労働大臣から「ファイナンシャル・プランニング」の職種について指定試験機関の指定を受け、試験を実施しています。

■CFP®資格

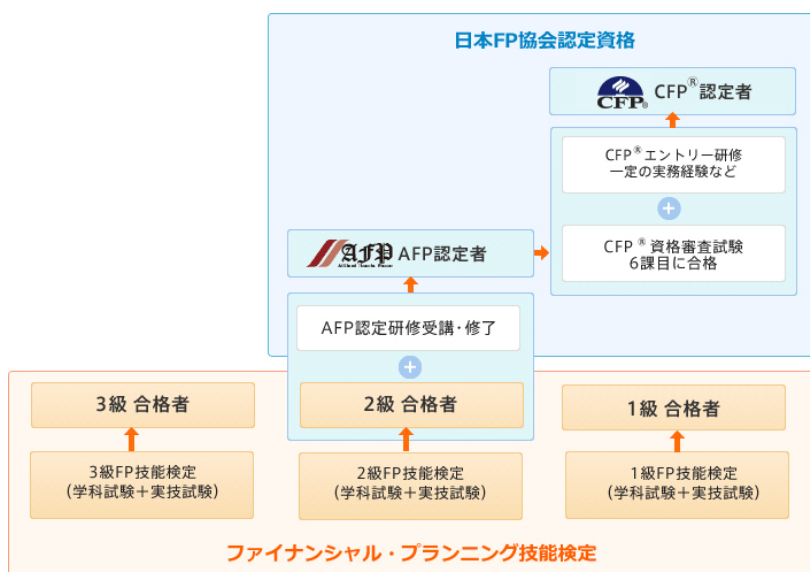
CFP®資格は、高度な知識と経験をもって長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスをし、他の FP の規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとして認定される資格です。認定にあたっては CFP®資格審査試験の合格と倫理・コンプライアンスや相談実務に関する研修の修了、通算 3 年以上の実務経験が要件になります。

北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界 25 カ国・地域(2020 年 10 月現在)で導入されている国際的な資格であり、日本においては当協会が認定しています。

■AFP 資格

専門家として必要な知識を持ち、顧客に対して適切なアドバイスを提供できる FP に与えられる資格で、日本 FP 協会が独自に認定しています。

2 級 FP 技能検定の合格と、顧客への提案を想定した「提案書」の作成が盛り込まれた当協会認定の研修「AFP 認定研修」を修了することで取得でき、取得することで CFP®資格審査試験の受験資格が得られます。

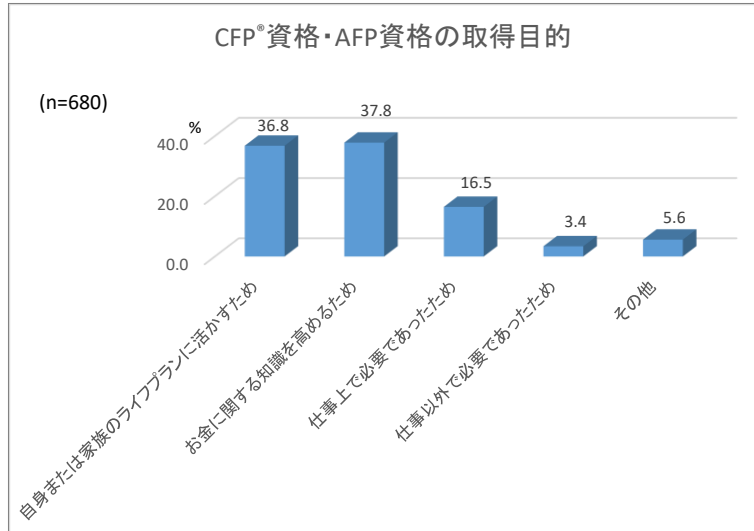


【CFP®資格・AFP 資格を取得した目的】

Q. あなたが「CFP®資格・AFP 資格を取得した目的」をお教えてください（ひとつのみ）。

⇒「お金に関する知識を高めるため(37.8%)」と「自身または家族のライフプランに活かすため(36.8%)」がほぼ均衡している。

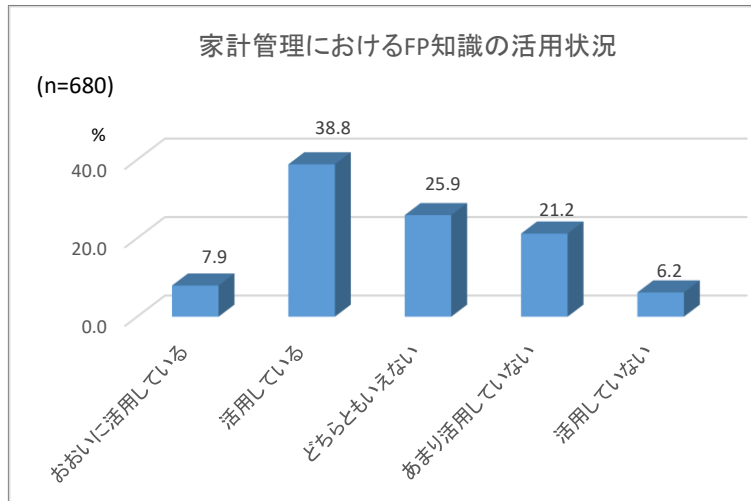
他人には気軽に相談できないお金や家計の問題を、主婦・主夫が自身で解決したいという背景から意欲的に資格を取得したと見て取ることができる。



【家計管理におけるFP知識の活用状況】

Q. あなたは、「身につけたFP知識を家計管理にどの程度活用」していますか（ひとつのみ）。

⇒「おおいに活用している(7.9%)」と「活用している(38.8%)」、合わせて46.7%が活用していると回答。年代別では60代以上の6割近くの活用度合いが高くなっている。



Q.家計管理への活用状況		n	おおいに活用している	活用している	どちらともいえない	あまり活用していない	活用していない
全体		680	7.9	38.8	25.9	21.2	6.2
年代	20代	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	30代	48	6.3	41.7	20.8	18.8	12.5
	40代	232	6.0	33.2	28.4	22.4	9.9
	50代	259	8.5	39.0	27.8	20.8	3.9
	60代以上	138	10.9	47.1	19.6	20.3	2.2

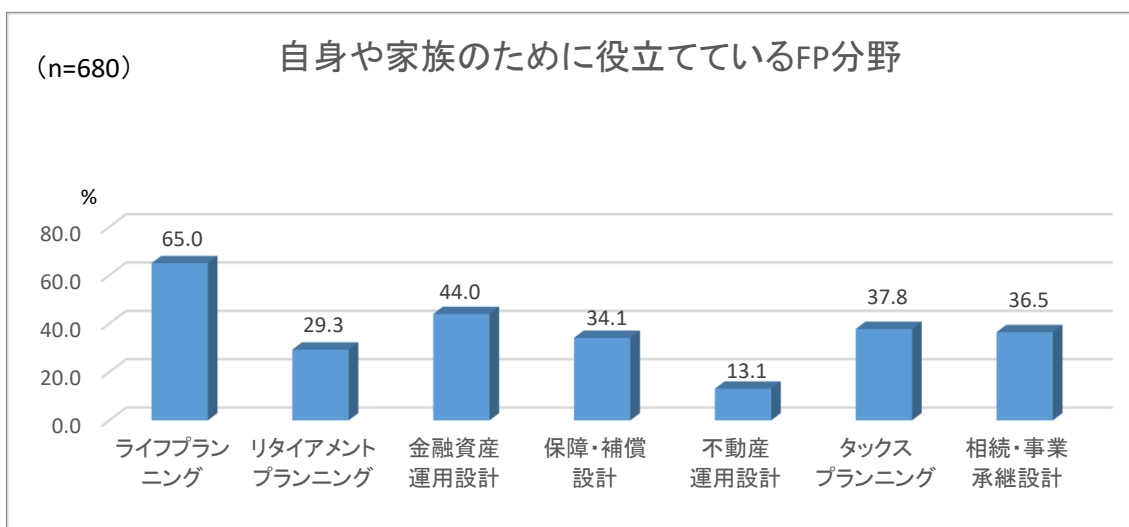
【自身や家族のために役立っているFP分野】

Q. あなたが「ご自身やご家族のために役立っているFP分野」をお教えてください（複数回答可）。

⇒「ライフプランニング」が65.0%、「金融資産運用設計」が44.0%と上位2つに入っており、特に「ライフプランニング」は、全ての年代で5割以上が役立っていると回答した。

年代別では唯一、30代の半数以上が「金融資産運用設計(54.2%)」を選択しており、他のFP分野に比べて関心の高さが見られる。

60代以上では、「ライフプランニング(50.7%)」のほかに、「相続・事業承継設計(51.4%)」、「タックスプランニング(50.0%)」との回答が5割を超えており、リタイアメントプランニングにつながる分野の知識が活用されていることがうかがえる。



Q 自身や家族のために役立っているFP分野 (複数回答可)		n	ライフプランニング	リタイアメントプランニング	金融資産運用設計	保障・補償設計	不動産運用設計	タックスプランニング	相続・事業承継設計
全体		680	65.0	29.3	44.0	34.1	13.1	37.8	36.5
FP資格の種類別	CFP®資格	71	80.3	47.9	60.6	40.8	19.7	53.5	49.3
	AFP資格	609	63.2	27.1	42.0	33.3	12.3	36.0	35.0
居住地域	北海道	12	58.3	50.0	75.0	66.7	8.3	33.3	33.3
	東北	23	78.3	52.2	39.1	39.1	4.3	34.8	26.1
	関東	337	65.9	29.4	43.3	31.5	12.5	38.0	37.7
	北陸	14	57.1	50.0	42.9	35.7	14.3	35.7	28.6
	東海	72	61.1	27.8	45.8	30.6	16.7	40.3	31.9
	近畿	131	70.2	25.2	45.0	42.0	13.7	41.2	38.9
	中国・四国	32	65.6	21.9	43.8	31.3	6.3	21.9	37.5
	九州	59	50.8	25.4	39.0	28.8	18.6	37.3	35.6
年代	20代	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	30代	48	77.1	18.8	54.2	37.5	10.4	33.3	10.4
	40代	232	69.8	19.0	42.2	35.3	12.5	34.5	28.0
	50代	259	66.0	35.9	44.8	37.5	12.4	35.5	41.3
	60代以上	138	50.7	38.4	42.0	24.6	16.7	50.0	51.4
就労状況	専業主婦・主夫／収入を得ていない	400	67.0	29.3	49.0	34.0	13.8	38.3	38.5
	兼業主婦・主夫／パート・アルバイトなど (短時間労働)で収入を得ている	234	63.2	29.5	37.6	33.8	12.8	35.9	32.9
	兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など (長時間労働)で収入を得ている	46	56.5	28.3	32.6	37.0	8.7	43.5	37.0

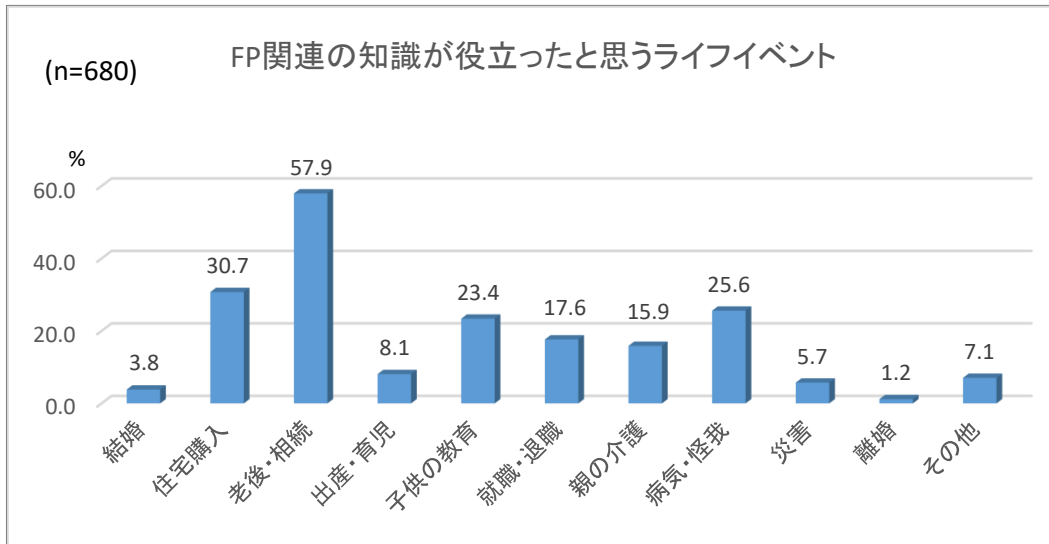
【FP 関連の知識が役立ったと思うライフイベント】

Q. 次のうち、あなたが「FP 関連の知識が役立った」と思うライフイベントをお教えてください(上位3つまで)。

⇒FP 関連の知識が役立ったと思うライフイベントは、「老後・相続」が 57.9%でトップ、年代が高くなるほど「役立った」との回答が多い。

年代別では、20代が「住宅購入(66.7%)」、30代は「住宅購入(37.5%)」と「子供の教育(37.5%)」、40代は「住宅購入(43.5%)」と「老後・相続(43.1%)」、50代の 65.3%と 60代以上の 80.4%は「老後・相続」が役立ったと回答しており、回答者自身の年代に身近な項目の割合が高い。

地域別では、近年、自然災害が発生した「東北(13.0%)」、「中国・四国(12.5%)」、「九州(10.2%)」が「災害」で FP 関連の知識が役立ったと回答しており、備えとなる保険をはじめとしたファイナンシャル・プランニングの知識が不測の事態から生活再建するために役立つことを示している。



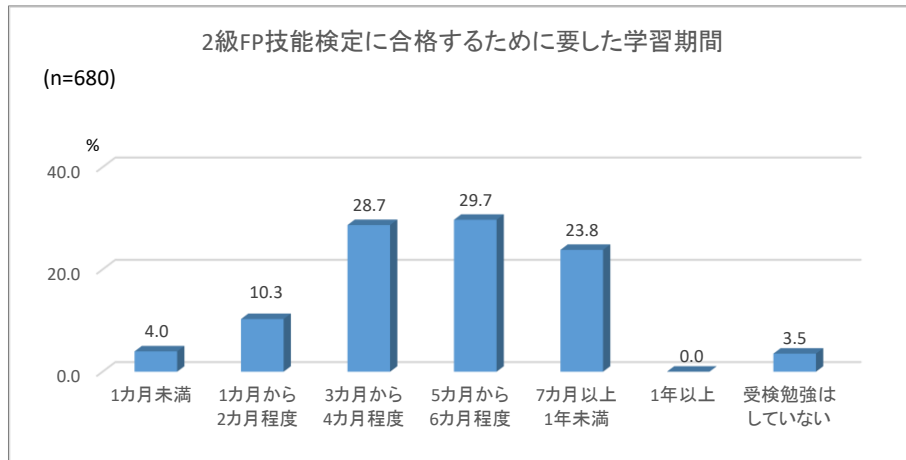
Q.「FP関連の知識が役立った」と思うライフイベント (上位3つまで)		n	結婚	住宅購入	老後・相続	出産・育児	子供の教育	就職・退職	親の介護	病気・怪我	災害	離婚	その他
全体		680	3.8	30.7	57.9	8.1	23.4	17.6	15.9	25.6	5.7	1.2	7.1
FP資格の種類	CFP®資格	71	2.8	46.5	63.4	5.6	25.4	18.3	14.1	28.2	5.6	0.0	2.8
	AFP資格	609	3.9	28.9	57.3	8.4	23.3	17.6	16.1	25.3	5.7	1.3	7.6
居住地域	北海道	12	0.0	33.3	58.3	8.3	33.3	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0
	東北	23	17.4	34.8	56.5	4.3	21.7	26.1	26.1	30.4	13.0	0.0	0.0
	関東	337	4.2	33.2	55.5	8.9	23.4	18.4	15.1	20.2	3.9	0.9	7.1
	北陸	14	7.1	35.7	71.4	7.1	7.1	7.1	7.1	35.7	0.0	0.0	14.3
	東海	72	4.2	26.4	58.3	6.9	25.0	20.8	25.0	26.4	4.2	1.4	5.6
	近畿	131	3.1	30.5	59.5	6.9	27.5	13.0	14.5	29.0	6.9	1.5	6.1
	中国・四国	32	0.0	25.0	71.9	18.8	21.9	18.8	9.4	46.9	12.5	3.1	12.5
	九州	59	0.0	22.0	57.6	3.4	15.3	18.6	13.6	32.2	10.2	1.7	10.2
年代	20代	3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	48	18.8	37.5	29.2	31.3	37.5	12.5	4.2	18.8	2.1	2.1	8.3
	40代	232	5.2	43.5	43.1	14.2	34.1	13.8	9.5	24.6	2.6	1.7	5.6
	50代	259	1.2	24.3	65.3	2.3	19.3	22.0	22.0	28.2	8.1	0.8	7.3
	60代以上	138	0.7	18.1	80.4	0.0	8.0	18.1	19.6	25.4	8.0	0.7	8.7
就労状況	専業主婦・主夫／収入を得ていない	400	4.0	30.8	59.0	9.5	20.3	15.3	19.8	25.3	5.5	1.3	8.3
	兼業主婦・主夫／パート・アルバイトなど (短時間労働)で収入を得ている	234	3.8	29.5	55.1	6.4	27.8	20.9	11.1	27.8	7.3	0.4	3.8
	兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など (長時間労働)で収入を得ている	46	2.2	37.0	63.0	4.3	28.3	21.7	6.5	17.4	0.0	4.3	13.0

2級FP技能検定の合格に向けた取り組み

【学習期間】

Q. 2級FP技能検定に合格するために要した、おおむねの学習期間をお教えてください(ひとつのみ)。

⇒「5カ月から6カ月程度」が29.7%でもっとも多く、「3カ月から4カ月程度」が28.7%で続き、ほぼ同率である。



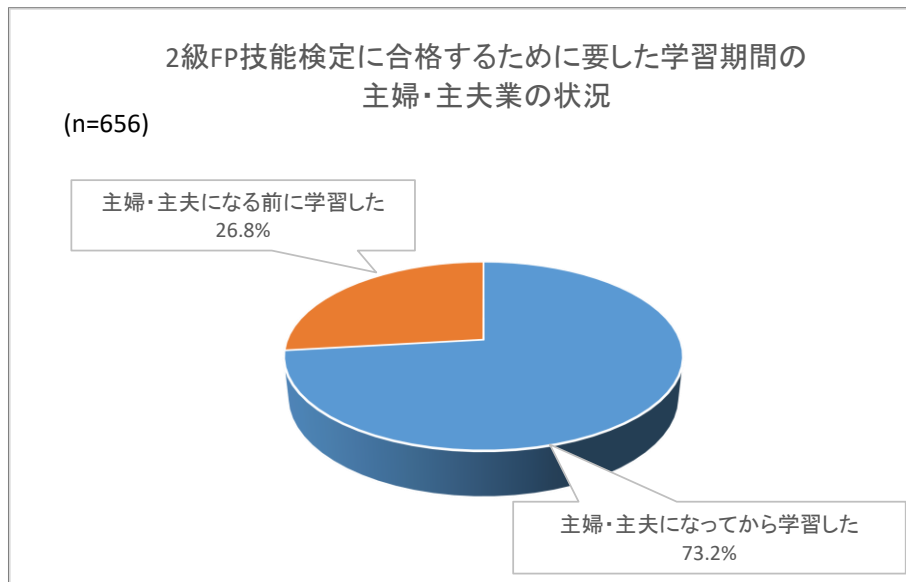
【学習期間の主婦・主夫業の状況】

Q. あなたが2級FP技能検定に合格するために要した学習期間は、以下のうち、どちらの状況にあてはまりますか(ひとつのみ)。

[選択肢: 1.主婦・主夫になってから学習した 2.主婦・主夫になる前に学習した]

⇒「主婦・主夫になってから学習した」が73.2%、「主婦・主夫になる前に学習した」が26.8%と差のある結果となった。

年代別では、60代以上が「主婦・主夫になってから学習した(84.3%)」とする一方、30代はいずれの選択肢も半数程度になっている。



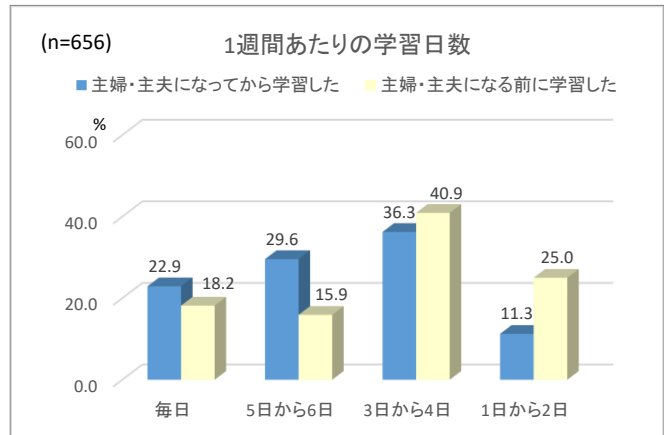
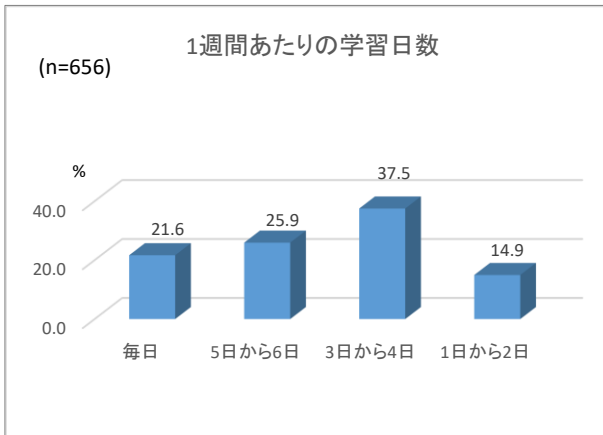
Q. 2級FP技能検定に合格するために要した学習期間の主婦・主夫業の状況		n	主婦・主夫になってから学習した	主婦・主夫になる前に学習した
全体		656	73.2	26.8
年代	20代	3	66.7	33.3
	30代	46	52.2	47.8
	40代	224	65.2	34.8
	50代	249	78.3	21.7
	60代以上	134	84.3	15.7

【1 週間あたりの学習日数】

Q. 2 級 FP 技能検定に合格するために要した学習期間の、1 週間あたりの学習日数をお教えてください(ひとつのみ)。

⇒「3 日から 4 日」が 37.5%でトップ。「5 日から 6 日」が 25.9%、「毎日」が 21.6%で続く。

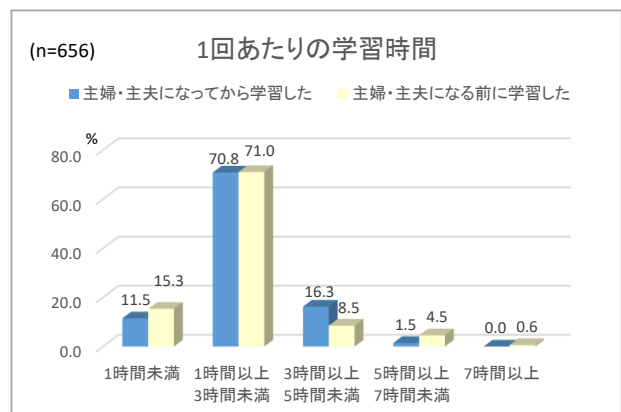
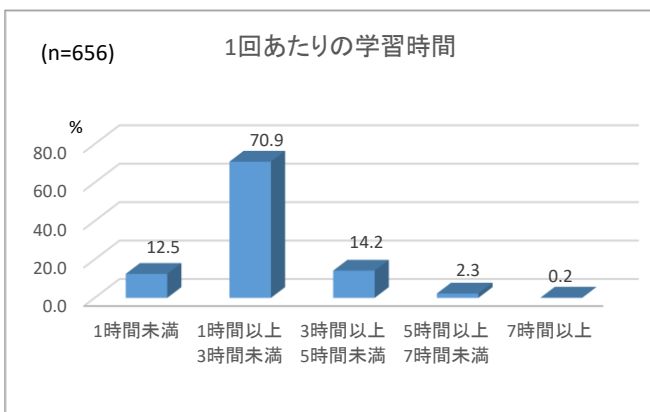
主婦になってから学習した方のうち、「毎日(22.9%)」と「5 日から 6 日(29.6%)」の合計が 52.5%であり、主婦・主夫の半数以上がほぼ毎日学習していたことがわかる。



【1 回あたりの学習時間】

Q. 2 級 FP 技能検定に合格するために要した学習期間中の、1 回あたりの学習時間をお教えてください(ひとつのみ)。

⇒「1 時間以上 3 時間未満」が 70.9%でトップ。「3 時間以上 5 時間未満」が 14.2%で続く。



忙しい主婦・主夫が計画的に学習時間を確保することは容易ではない。しかし、3 カ月から半年の期間を設け、家事や育児の合間を縫って学習を重ねて国家資格を取得した主婦・主夫がいることは事実である。

また、60 代以上の約 8 割が「主婦・主夫になってから学習した(84.3%)」と回答しており、専門知識を身につけることが大切であるというベテラン主婦・主夫の経験が表れている。

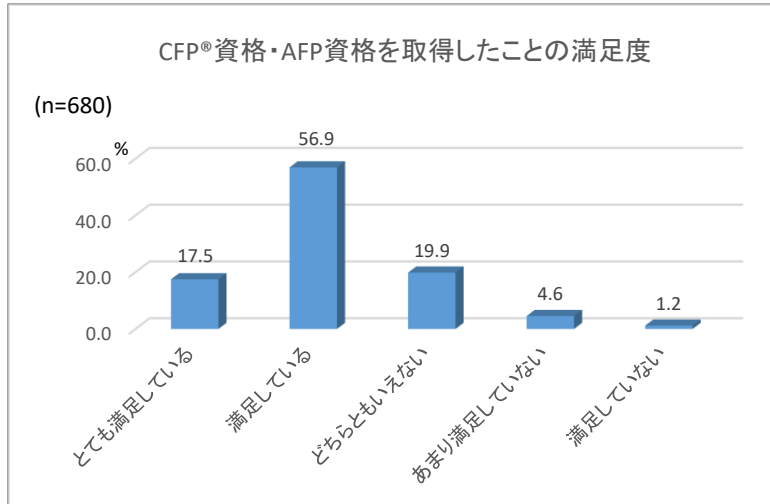
資格に対する満足度・意識について

【CFP®資格・AFP 資格取得への満足度】

Q. あなたは、CFP®資格・AFP 資格を取得したことに満足していますか(ひとつのみ)。

⇒「満足している(56.9%)」、「とても満足している(17.5%)」の合計は 74.4%となり、多くの方が取得したことに満足感を持っている。

年代別では 60 代以上のうち 84.1%、就労状況別では専業主婦・主夫の 77.6%が、「満足している」、「とても満足している」と回答している。



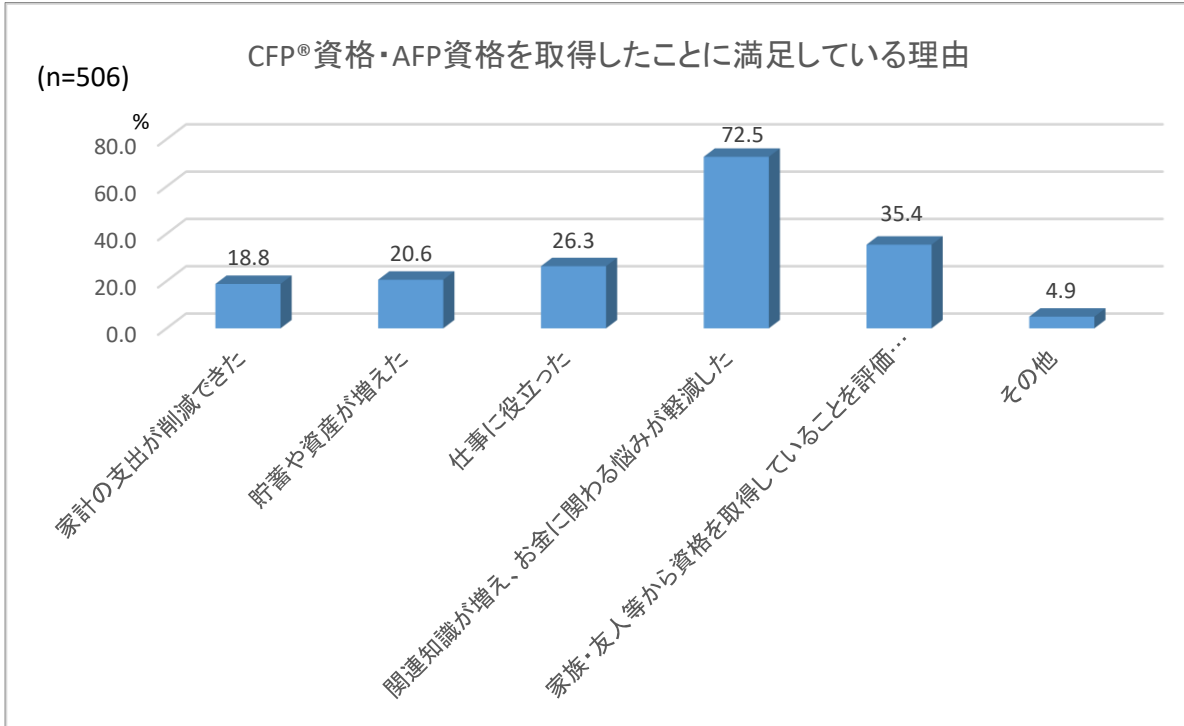
Q. CFP®資格・AFP資格を取得したことの満足度		n	とても満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
全体		680	17.5	56.9	19.9	4.6	1.2
FP資格の種別	CFP®資格	71	29.6	47.9	18.3	4.2	0.0
	AFP資格	609	16.1	58.0	20.0	4.6	1.3
居住地域	北海道	12	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0
	東北	23	21.7	52.2	13.0	8.7	4.3
	関東	337	15.1	58.2	20.5	5.6	0.6
	北陸	14	21.4	57.1	21.4	0.0	0.0
	東海	72	23.6	55.6	16.7	0.0	4.2
	近畿	131	19.8	52.7	22.1	3.8	1.5
	中国・四国	32	3.1	71.9	21.9	3.1	0.0
	九州	59	22.0	54.2	16.9	6.8	0.0
年代	20代	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	30代	48	14.6	56.3	18.8	8.3	2.1
	40代	232	15.5	56.9	22.0	5.2	0.4
	50代	259	16.6	55.2	22.0	5.0	1.2
	60代以上	138	23.2	60.9	12.3	1.4	2.2
就労状況	専業主婦・主夫／収入を得ていない	400	20.3	57.3	17.5	3.8	1.3
	兼業主婦・主夫／パート・アルバイトなど(短時間労働)で収入を得ている	234	11.1	59.8	22.6	5.1	1.3
	兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など(長時間労働)で収入を得ている	46	26.1	39.1	26.1	8.7	0.0

【満足している理由】

Q. あなたが、CFP®資格・AFP資格を取得したことに満足している理由をお教えてください(複数回答可)。

⇒「関連知識が増え、お金に関わる悩みが軽減した」が72.5%でトップ。「家族・友人等から資格を取得していることを評価された」が35.4%で続く。

「兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など(長時間労働)で収入を得ている」の6割が、「仕事に役立った」ことを満足している理由に挙げている。



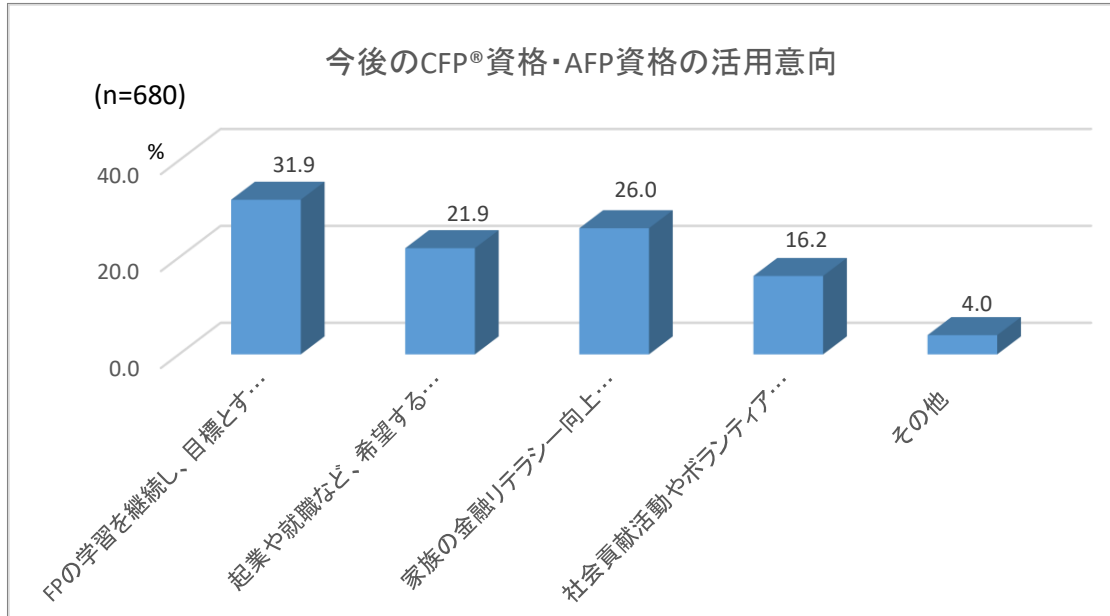
Q.満足している理由(複数回答可)		n	家計の支出が削減できた	貯蓄や資産が増えた	仕事に役立った	関連知識が増え、お金に関わる悩みが軽減した	家族・友人等から資格を取得していることを評価された	その他
全体		506	18.8	20.6	26.3	72.5	35.4	4.9
FP資格の種類	CFP®資格	55	16.4	23.6	43.6	78.2	45.5	7.3
	AFP資格	451	19.1	20.2	24.2	71.8	34.1	4.7
居住地域	北海道	10	20.0	20.0	30.0	70.0	50.0	10.0
	東北	17	23.5	29.4	35.3	88.2	35.3	5.9
	関東	247	15.4	20.6	28.7	72.9	36.8	3.6
	北陸	11	9.1	9.1	18.2	72.7	36.4	9.1
	東海	57	21.1	19.3	24.6	64.9	33.3	10.5
	近畿	95	22.1	16.8	23.2	73.7	32.6	5.3
	中国・四国	24	50.0	41.7	12.5	83.3	29.2	0.0
	九州	45	11.1	17.8	26.7	66.7	35.6	4.4
年代	20代	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	30代	34	11.8	20.6	29.4	76.5	58.8	0.0
	40代	168	21.4	26.8	22.0	71.4	26.8	3.6
	50代	186	17.7	14.5	29.6	71.0	38.2	5.4
	60代以上	116	18.1	20.7	25.9	75.9	36.2	7.8
就労状況	専業主婦・主夫／収入を得ていない	310	20.0	20.0	22.3	73.9	38.4	4.2
	兼業主婦・主夫／パート・アルバイトなど(短時間労働)で収入を得ている	166	16.9	21.1	26.5	72.3	31.9	7.2
	兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など(長時間労働)で収入を得ている	30	16.7	23.3	66.7	60.0	23.3	0.0

【今後の活用意向】

Q. あなたは、今後 CFP®資格・AFP 資格をどのように活用したいとお考えですか。以下のうち、あなたのお考えにもっとも近いものをひとつ選んでお答えください。

⇒「FP の学習を継続し、目標とするライフプランに近づけるように活用したい」が 31.9%、「家族の金融リテラシー向上や子どもの金融経済教育に活用したい」が 26.0%で上位である。

年代別では、30 代が「家族の金融リテラシー向上や子どもの金融経済教育に活用したい(39.6%)」と「起業や就職など、希望する働き方の実現に活用したい(35.4%)」の順で高く、家庭と仕事の両方で資格の活用が期待でき、資格の活用範囲が広がり始める年代であることが分かる。



Q.今後のCFP®資格・AFP資格の活用意向		n	FPの学習を継続し、目標とするライフプランに近づけるように活用したい	起業や就職など、希望する働き方の実現に活用したい	家族の金融リテラシー向上や子どもの金融経済教育に活用したい	社会貢献活動やボランティア活動に活用したい	その他
全体		680	31.9	21.9	26.0	16.2	4.0
FP資格の種別	CFP®資格	71	19.7	29.6	21.1	26.8	2.8
	AFP資格	609	33.3	21.0	26.6	14.9	4.1
居住地域	北海道	12	41.7	0.0	16.7	25.0	16.7
	東北	23	39.1	21.7	21.7	13.0	4.3
	関東	337	32.3	22.8	25.5	15.7	3.6
	北陸	14	21.4	21.4	42.9	7.1	7.1
	東海	72	20.8	23.6	27.8	25.0	2.8
	近畿	131	36.6	22.1	22.1	16.8	2.3
	中国・四国	32	25.0	15.6	40.6	15.6	3.1
	九州	59	33.9	22.0	27.1	8.5	8.5
年代	20代	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	30代	48	16.7	35.4	39.6	8.3	0.0
	40代	232	33.2	31.0	26.3	6.9	2.6
	50代	259	35.5	18.9	25.1	16.6	3.9
	60代以上	138	27.5	7.2	23.2	34.1	8.0
就労状況	専業主婦・主夫／収入を得ていない	400	33.8	19.5	26.8	15.8	4.3
	兼業主婦・主夫／パート・アルバイトなど（短時間労働）で収入を得ている	234	29.5	24.4	25.6	16.7	3.8
	兼業主婦・主夫／契約社員・正社員など（長時間労働）で収入を得ている	46	28.3	30.4	21.7	17.4	2.2